

令和8年度

# 「運営に関する計画・自己評価」

大阪市立姫里小学校

令和8年4月

1

**現状と課題****【安全・安心な教育の推進】**

- 令和7年度小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。⇒ **75.4%** **未達成**
- 令和7年度小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。⇒ **73%** **未達成**
- ◇ いじめ防止について啓発する日を年3回設けて、児童一人ひとりが改めて日々の行動について振り返る機会を設けた。経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は、昨年度73.4%、今年度77.7%で、目標の78%にはわずかに届かなかったが、目標をほぼ達成することができた。今後もいじめの早期発見・解消に努めるとともに、未然防止を図るようにしていく。
- ◇ 「心の天気」を活用したり、児童の様子を観察したりすることで、児童の心の状態を把握するようになってきた。児童からの相談や児童同士のトラブルにはすぐに対応をし、解決するようにして、深刻ないじめに発展しないように努めた。いじめ事案については、毎月の生活指導連絡会で報告し、教職員全体で共通理解を図った。今後も、日頃から、児童の良いところを褒めるように努め、自己肯定感を高められるようにしていく必要がある。
- ◇ 児童集会やひめっ子まつりなど、異学年で交流する機会を多く設けたり、学級においてペアトーク、グループ交流、係活動を行ったりすることを通して、児童同士が協力して活動することができた。今後もゲーム集会やひめっ子班活動などを通して異学年で関わったり、学級で児童が主体的に協力し合えたりできる場を意識的に設定していく。また、自分の考えを伝え、他者の意見を尊重する態度の育成を図っていく。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.03ポイント向上させる。  
⇒ **6年-0.03ポイント、5年+0.13ポイント、4年+0.13ポイント** **未達成**
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を67%以上にする。⇒ **64.2%** **未達成**
- ◇ 令和7度は、「書く力」と「語彙力」の向上を重点目標として、国語科を中心に指導の充実を図った。自分の考えを書き、その後ペアや全体で交流する学習過程を取り入れることで、自分の意見に自信をもって発表できる児童が増えた。今後は、ICT活用や読書週間などの取組を継続するとともに、掲示物による視覚的な振り返りの充実や、交流方法の工夫・体系化を図っていく。また、書く力の育成は継続的な取組が重要であるため、長期的な視点で授業改善を進め、児童が「できる・わかる」を実感できる学習環境の充実に努めていく。

- ◇ 体力向上週間を年間 3 回行い、がんばりカードを作成して、児童が意欲的に取り組みに参加できるようにした。なわとび週間では、高学年の児童が跳び方を紹介したことで、新しい技に挑戦しようとする児童が増えた。今後は、運動が苦手な児童も楽しく取り組める手立てを考えたり、体力向上週間でない期間も運動する児童が増えるような声掛けを行っていく。

#### 【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 75%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 I C T 活用が適さない日数を除く〕 ⇒ **75.2%** **達成**
- 第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を 70%以上にする。 ⇒ **87.1%** **達成**
- ◇ 心の天気、らっこたん、デジタルドリル等で学習者用端末を活用したことで、児童の 8 割以上が端末を活用した日数が目標を上回る事ができた。また、タイピング大会を実施したことで、タイピングに意欲的に取り組む児童が増えた。今後も、学習者用端末を毎日利用する機会を設けるとともに、タイピングスキルの向上を図っていく。
- ◇ 長期休業前後に 5 時間授業の日を設定したり、二学期制を導入したりしたことで、業務に取り組める時間を確保でき、児童一人ひとりをじっくりと評価することにつながった。また、特別授業や社会見学、5 年生林間学習の取り組みなど、学習活動を充実させることができた。会議の日程を偏りなく設定したことで、計画的に一週間の業務に取り組むことができ、時間外勤務時間の削減につながった。引き続き、二学期制や長期休業前後の 5 時間授業を実施し、会議・研修の設定を工夫して、時間外勤務の削減に努め、教員がゆとりをもって業務に当たれるよう進めていく。

## 1 学校運営の中期目標

### 中期目標

#### 【安全・安心な教育の推進】

- 全国学力・学習状況調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87.0%以上にする。 (R7 72.7%)
- 全国学力・学習状況調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88.0%以上にする。 (R7 86.4%)

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 全国学力・学習状況調査における算数の平均正答率の対全国比を 1.00 にする。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 90%以上にする。 (R7 男子 91.0% 女子 85.7% 全体 88.4%)

#### 【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80.0%以上にする。  
(R7 ③48% ④28.4% ⑤57.7% ⑥64.0% 全体 49.5%)
- 教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を 20 時間以下にする。  
(R7 16 時間 4 分)

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

#### 【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 78.5%以上にする。 (R7 75.4%)
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 76.0%以上にする。 (R7 73.0%)

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。  
(R7 ③0.99 ④1.01 ⑤1.09)
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 85%以上にする。  
(R7 83.4%)

#### 【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 57.0%以上にする。  
(R7 ③48% ④28.4% ⑤57.7% ⑥64.0% 全体 49.5%)
- 教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を 16 時間以下にする。

### 3 本年度の自己評価結果の総括



大阪市立姫里小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

|      |                     |                        |
|------|---------------------|------------------------|
| 評価基準 | A：目標を上回って達成した       | B：目標どおりに達成した           |
|      | C：取り組んだが目標を達成できなかった | D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標  | 達成状況 |
|---|------|
| <p><b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>○ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <b>78.5%以上</b>にする。 (R7 75.4%)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <b>76.0%以上</b>にする。 (R7 73.0%)</p> |      |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標   | 進捗状況 |
|--|------|
| <p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○ 内発的動機づけが高まる「3つの基本的心理的欲求（自律性・有能性・関係性）」のうち、「関係性の欲求」（他者とつながっている・居心地がいい）が満たされる場面を設定する。</p> <p>○ 児童の実態を把握することや、教員の指導力向上を図るために「内発的動機づけ」等をテーマとした研修会を行う。</p> <p>○ 年3回の「いじめアンケート・いじめについて考える日」の実施。「心の天気」の活用。</p> <p>○ スクールカウンセラー、子どもサポートネット等との連携を進める。</p> |      |
| <p>指標</p> <p>○ 教科学習、特別活動等において、各学年（または各学級）での具体的実践を2項目設定して、年間を通じて行う。</p> <p>○ 「内発的動機づけ」等をテーマとした研修会を年2回行う。</p>  |      |
| <p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>○ 「自分の特徴を言葉で表現できる子ども」「失敗を糧にし、自分の価値を再定義できる子ども」「自分の存在や行動がクラスや学校という社会を動かしていると感じることができる子ども」を育む。</p> <p>○ 集会活動やひめっ子班活動などでのたてわり班活動を工夫することや学校行事、学級活動において児童が協力して活動に取り組む機会を様々な場面で設ける。</p> <p>○ 教員の指導力向上を図るために、「自己肯定感」「自己有用感」等をテーマとした研修会を行う。</p>                  |      |
| <p>指標</p> <p>○ 「自分にはよいところがある」ことに気づき、表現する機会を設定する。</p> <p>○ 「自己肯定感」「自己有用感」をテーマとした研修会等を年2回行う。</p>   |      |
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析  |      |
| 次年度への改善点   |      |



(様式2)

大阪市立姫里小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

|                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 評価基準 A: 目標を上回って達成した  | B: 目標どおりに達成した           |
| C: 取り組んだが目標を達成できなかった | D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標   | 達成状況 |
|--|------|
| <p><b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>○ 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。<br/>(R7 ③0.99 ④1.01 ⑤1.09 ⑥0.97)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 85%以上にする。<br/>(R7 83.4%)</p> |      |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標  | 進捗状況 |
|---|------|
| <p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○ 次期学習指導要領を見据えて、算数科の指導方法の研究を進め、児童が「できる・わかる」を実感できるよう、指導力の向上を図る。</p>  |      |
| <p>指標</p> <p>○ 年7回の校内授業研究会・研究討議会を実施する。<br/>○ 年2回の学力向上研修会を実施する。</p>  |      |
| <p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>○ 「投げる」「跳ぶ」「走る」といった基本動作の質を高める運動に取り組む。<br/>○ 年3回、「体力向上週間」を定める。1回目は体づくり運動(外遊び)、2回目はなわとび、3回目はかけ足を中心に、体育科の時間や休憩時間に取り組む。その際、児童が楽しんで取り組むことができるような「がんばりカード」を作成して、活用する。</p> |      |
| <p>指標</p> <p>○ 5・1・2月(可能であれば4月も)を中心に、体育の授業導入(準備運動)等に、体力テストの種目に関連した動きを「遊び」として取り入れる。<br/>○ 年3回、「体力向上週間」を行う。</p>   |      |
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析   |      |
| 次年度への改善点  |      |

(様式2)

大阪市立姫里小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

|                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 評価基準 A: 目標を上回って達成した  | B: 目標どおりに達成した           |
| C: 取り組んだが目標を達成できなかった | D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標   | 達成状況 |
|--|------|
| <p><b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>○ 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <b>57.0%</b>にする。<br/>(R7 ③48% ④28.4% ⑤57.7% ⑥64.0% 全体 49.5%)</p> <p>○ 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を <b>16時間</b>以下にする。<br/>(R7 16時間4分)</p> |      |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標  | 進捗状況 |
|---|------|
| <p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <p>○ 学習者用端末、学習支援ソフト(classroom、フォーム、スプレッドシート、スライド、Canva)等を活用した学習活動を週2回以上設定する。</p> <p>○ タイピングスキルの向上に取り組む(タイピング大会の実施)。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>○ 校内調査(3年生以上)における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <b>57.0%以上</b>にする。</p>   |      |
| <p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>○ 校務のデジタル化とスクールサポートスタッフ等の人材の活用を進める。</p> <p>○ 業務量が多い長期休業前後の授業時間を調整し、業務に取り組める時間を確保する。</p> <p>○ 業務時間や休憩時間を確保できる会議の設定や業務の分担を工夫する。</p> <p>○ 高学年で教科担任制を導入することで、教材研究の時間を削減する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>○ 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を <b>16時間</b>以下にする。<br/>(R7 16時間4分)</p> |      |
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析   |      |
|   |      |
| 次年度への改善点  |      |
|   |      |

